

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【公開番号】特開 2003-101890 (P2003-101890A)

【公開日】平成 15 年 4 月 4 日 (2003.4.4)

【出願番号】特願 2001-292238 (P2001-292238)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/335

H 0 4 N 5/232

H 0 4 N 5/243

【F I】

H 0 4 N 5/335 Z

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/243

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 25 日 (2003.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学機構を有するカメラ機構部と、カメラ機構部からの受光信号をアナログ画像データ信号に変換する撮像素子と、撮像素子からの画像データを処理するデータ処理部と、処理された画像データを格納するメモリ部と、処理された画像データを表示する表示部と、これらを制御する C P U とからなる画像撮像装置において、  
画像データ量に応じて撮像素子からのデータ読み出し時間を制御するタイミング制御部を有することを特徴とする画像撮像装置。

【請求項 2】

光学機構を有するカメラ機構部と、カメラ機構部からの受光信号をアナログ画像データ信号に変換する撮像素子と、撮像素子からの画像データを処理するデータ処理部と、処理された画像データを格納するメモリ部と、処理された画像データを表示する表示部と、これらを制御する C P U とからなる画像撮像装置において、  
画像データ量に応じて撮像素子からのデータ読み出し速度を可変とするタイミング制御部を有することを特徴とする画像撮像装置。

【請求項 3】

前記データ処理部は、局所的に高輝度の光を受光する画素を前後のラインと周辺画素との相関を取って補正することでスミアノイズを低減することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像撮像装置。

【請求項 4】

1 画面分のフレームメモリを持たず、表示部に応じたデータ量の小さい小画面用動画像を表示する機能と、データ量の大きい大画面用静止画像を記録する機能とを有することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の画像撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

## 【課題を解決するための手段】

本発明は、光学機構を有するカメラ機構部と、カメラ機構部からの受光信号をアナログ画像データ信号に変換する撮像素子と、撮像素子からの画像データを処理するデータ処理部と、処理された画像データを格納するメモリ部と、処理された画像データを表示する表示部と、これらを制御するCPUとからなる画像撮像装置において、画像データ量に応じて撮像素子からのデータ読み出し時間を制御するタイミング制御部を有することを特徴とする画像撮像装置である。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

また本発明は、光学機構を有するカメラ機構部と、カメラ機構部からの受光信号をアナログ画像データ信号に変換する撮像素子と、撮像素子を駆動するためのクロック発生器と、撮像素子からの画像データを処理するデータ処理部と、処理された画像データを格納するメモリ部と、処理された画像データを表示する表示部と、これらを制御するCPUとからなる画像撮像装置において、画像データ量に応じて撮像素子からのデータ読み出し速度を可変とするタイミング制御部を有することを特徴とする。